

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 新旧の情報を統合する睡眠脳のダイナミクス
2. 研究代表者： 宮本 大祐（富山大学 研究推進機構 アイドリング脳科学研究センター 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

脳は獲得した情報を記憶として長期的に保持するだけでなく、新情報によりアップデートする。新旧の情報の統合は脳の柔軟な情報処理に貢献し、認知症の一症状の固執性を回避する。本課題は、記憶の貯蔵庫となる大脳皮質と新情報を担う海馬の睡眠脳波のリズムによる脳領域間コミュニケーションを計測し、さらに、最新の光遺伝学的手法をマウスの記憶研究用ツールと融合することで、脳ネットワークを高精細かつ大規模に可視化することを目的としている。フェーズ1では、睡眠時の記憶シナプスの増強の解明、in vivo での光遺伝学的操作技術開発など、先端的な技術開発に意欲的に挑戦しており、技術開発を含めて順調に進捗している。フェーズ2では、生物学的な意味での到達点をどこに設定するのか、どのように迫れるのか、また、論文化も含めた結実への展開に期待する。

以上